



沖小だより



令和8年8月第10号
門真市立沖小学校
校長 吉川 茂樹

8月に入りました！

夏休みが始まり、2週間が過ぎました。子どもたちの「今」を大切にしながらも、ふと「この子どもたちが生きる、これからの長い時代」について考えることがあります。

「人生100年時代」——よく耳にする言葉ですが、今回はこの言葉を手がかりに、少しコラム的に綴ってみたいと思います。

人生100年時代を生きる子どもたちへ

「2007年に生まれた子どもの半数は107歳まで生きる」——そんな研究結果が話題になったのは、もう何年も前のことです。医学の進歩や生活環境の向上により、「人生100年時代」はいよいよ現実のものとなってきました。

それに伴い、私たち大人の働き方・生き方も大きく変わりつつあります。かつては「学ぶ→働く→引退」という一本道の人生モデルが当たり前でした。

しかしこれからは、**学び直しや転職、独立、複業などを重ねながら生きていく**、いわば“**マルチステージ**”の時代です。ひとつの分野を究めるだけでなく、いくつもの「学ぶ」と「働く」を行き来しながら、**自分らしい人生を組み立てていく**——そんな生き方が主流になっていくと言われています。

だからこそ、今、学校教育に求められているのは、知識を教えることだけではありません。**「自ら学ぶ力」「変化に適応する力」**を育てることこそが、これからの時代を生きる子どもたちに必要な力だと考えています。

社会の変化がますます速くなる中で、子どもたちが将来出会う仕事や課題は、今の私たち大人にも想像できないものかもしれません。そんな未来を生き抜くためには、「先生がいないと学べない」のではなく、「**先生がいなくても、自分で学び続けられる**」姿勢や習慣を、今のうちから身につけていくことが大切です。

本校では、探究学習や協働的な学びの中で、**子どもたちが主体的に考え、対話し、挑戦する機会**を意図的に取り入れています。うまくいかないことや試行錯誤を重ねながらも、「**自分で学び、成長する喜び**」を実感していく——そのような経験の積み重ねこそが、これからの時代に必要不可欠な学びだと考えています。

子どもたちの「**未来を生きる力**」について、保護者の皆様ともこれからも一緒に考え、育てていければと思います。

9月日程、1年生～3年生は一部変更します。

9月25日（金）ですが、1年生～3年生は教員研修等の関係から、**4時間授業（13：15下校）**に変更します。よろしくお願いいたします。



文部科学省資料より

